

東京都檜原都民の森管理運営に関する事業計画の概要
(平成30年度～32年度)

檜原都民の森は、平成2年5月の開園以来、檜原村が東京都より委託され管理運営を行ってまいりました。今後30年度から平成32年度の3カ年につきましても、管理運營業務を効果的かつ効率的に行うため、今まで培ってきた経験やノウハウを活かしながら、この施設及び恵まれた環境を村の宝として守り、創意工夫のある企画や運営体制を堅持しながら、限られた予算の中で来園者への質の高いサービスを提供してまいります。

また、村の観光・産業振興、雇用創出の場、環境行政の発信基地として、本村の観光の中心となり、都民の森がより利用度の高い施設として活用されるよう、全職員が一丸となり、来園者の対応に取り組んでまいります。

来園者の安全対策としては、都民の森は197haと広大な面積を有するとともに、山岳公園のため自然の地形・景観を生かしつ、遊歩道・登山道等の危険防止対策及び救助活動等万全の対策をとってまいります。

事業への取り組みにつきましては、職員5名により最大の事業効果が得られるよう、計画的に事業の展開を図り、民間的な発想のもとで、管理運営に取り組めます。

今まで実施してきた事業についても、見直しや単独事業ではなく、いくつかの要素を含んだ内容とするなどの検証を常に行い、都民の森ならではのイベントを観光協会、地元数馬地区及び関連施設との連携を図り、滞在型のプログラムも含め年間240回程度開催いたします。

特に、平成19年3月に「森林セラピーロード」として認定された大滝の路を檜原村及び地元の観光協会、その他の団体へも働きかけ、健康志向にも着目しながら、更なる活用方法を検討します。

ニーズ把握への取り組みとしては、幅広く来園者の意見を聞き苦情等に関しては、その声を真摯に受け止め、職員全員で共有し、早急な対応をするよう心がけていきます。

質の高いサービスの提供への取り組みとしては、日常的な清掃、安全管理についてはシルバー人材センターへ委託し、きめ細かな清掃により、常に利用者に清潔感を与えるよう心がけます。

公共交通機関を利用して訪れる人々のためには、バス路線終点から当園までの間を、民間の路線バス等借り上げ送迎を行います。

また、希望者を対象として駐車場から森林館までの間、都民の森の車輛により送迎を行い利便性と集客率の向上に努めてまいります。なお、送迎用車輛については、電気自動車を導入し環境保護にも努めます。

駐車場満車時の対策としましては、引続き臨時駐車場からの来園者の送迎を安全に細心の注意を払い実施いたします。

自然や環境への関心が高まっているなか、校外学習や課外授業の受け皿として希望する団体には、木材工芸指導員や野外利用指導員を講師として随行、派遣いたします。

また、新しいボランティアの育成を含め、研修を開催しながら実践の場を与え、より一層のボランティアの育成を図るとともに都民の森を知り尽くした野外自然指導員の退職時期を迎えていることから、理学部生物学科の大学院課程を修了しました職員を27年度に採用するなど継続した利用者へのサービス提供を行ないます。施設の広報等に関する取り組みにつきましては、PRの媒体としての大きな影響のあるテレビ・新聞等のマスコミ関係については積極的に受け入れ、取材協力をしていきます。

ホームページ、フェイスブックについては、都民の森の四季折々の最新情報を発信し常に新鮮な感覚が保たれるよう月3回以上更新し、気温については毎日掲載し、都民の森の現在の状況をリアルタイムに発信いたします。また、ホームページは、見やすく検索もスムーズにできるよう改修するとともに外国語対応の改修もあわせて行います。

パンフレット類の配布については、なるべく多くの人に見ていただけるよう大多摩観光連盟の新宿案内所や温泉施設、登山用品等を扱うショップなどにも置かせていただくよう依頼してまいります。

今後も村と連携を図り、村の主催する村内外のイベントにおいて、ガイドマップ・パンフレット等を配布し、より多くの方に都民の森を知っていただくようPR活動に務め、集客率の向上を図ります。

地域連携や地域振興、関連施設との連携への取り組みといたしましては、檜原村にとって都民の森による経済効果は大きく、隣接の「温泉センター数馬の湯」「民宿・旅館」及び地元観光協会との連携を図り滞在型の合同イベントを実施いたします。

特別イベントとして、炭焼き体験教室・水墨画教室等の講師については、地元で技術を持っている人を雇用し、伝統工芸の継承及び人材育成に努めてまいります。

また、奥多摩都民の森・山のふるさと村をはじめ、地域の観光関連施設のPRを行うとともに連携を図ります。

以上が檜原都民の森の事業運営計画の概要でございます。